

神戸大学附属図書館デジタルアーカイブ

神戸大学附属図書館では所蔵貴重資料などの学術資産や教育・研究成果を「デジタルアーカイブ」として広く世界に発信し、社会に対する本学の知的資源のポータル（窓口）機能を果たすことを目指している。



神戸大学学術成果リポジトリ Kernel

平成 18 年 10 月より、「神戸大学学術成果リポジトリ（機関リポジトリ）"Kernel"」の公開を開始した。

学術雑誌に掲載された論文、紀要等学内刊行物の論文、博士号学位論文、図書、学術報告書、データベース、教材などあらゆる種類の学術成果が収録対象である。その他、学内刊行物の目次データベースとしての役割も果たしている。

平成 29 年 1 月に「神戸大学オープンアクセス方針」を採択し、オープンアクセスのさらなる促進を目指している。

公開件数は平成 30 年 9 月に 27,000 件を達成し、近年の月別平均論文ダウンロード数は 90,000 件を超える。

学内研究成果アーカイブ

「キク科の染色体数データベース」「アルナウト・ダニエル詩のコンコーダンス」「瀬戸内海海藻類標本」等、神戸大学における教育・研究の成果を図書館サーバから公開している。



経済関係資料アーカイブ

明治末～戦前期の新聞切抜資料「新聞記事文庫」（経済経営研究所所蔵）の全文・画像のデジタル化を進め、公開記事は 30 万件に達した（平成 30 年 10 月現在）。本事業は平成 16～23、25、27～28、30 年度に「科学研究費補助金研究成果公開促進費（データベース名：戦前期新聞経済記事文庫データベース）」の助成を受け、継続的なデジタル化公開を行っている。

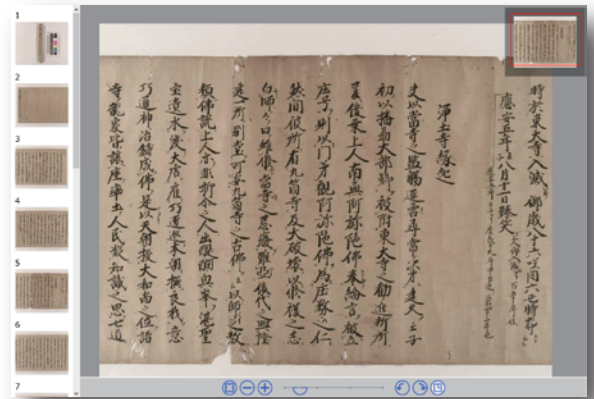
また、江戸期～明治初期の海事関係資料コレクション「住田文庫」の一部を修復・デジタル化公開している。

📖 その他 稀観書・貴重書

各種貴重書についてもデジタル化公開を進めており、『浄土寺縁起』、『広峯神社古文書』などを公開している。

神戸港開港関係資料は、本学デジタルアーカイブでデジタル化公開しているほか、アジア歴史資料センターデータベースでの検索も平成30年4月から可能となった。

また、平成26年度より、国文学研究資料館の事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」に参加し、拠点大学として、学内の古典籍のデジタル化を進めている。



📖 震災文庫デジタルアーカイブ

阪神・淡路大震災に関する資料を収集する「震災文庫」の所蔵資料について詳細なメタデータの提供に加え、著作権者の許諾が得られた一次情報のデジタル公開を行っている。公開している一次情報は、図書約470点、写真約24,000点、一枚もの約3,200点のほか、動画・音声・広報類・データファイルなど多岐に渡っている。(平成30年9月末現在)

平成21年1月に「阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター」と横断検索を開始し、平成24年3月には「兵庫県立図書館」が加わり、3機関での検索が可能となった。

また平成25年3月公開の「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(愛称:ひなぎく)」に参加し、横断検索が可能となっている。

平成30年10月にはハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所と日本災害DIGITALアーカイブに関する覚書を交わした。

📖 デジタルアーカイブ横断検索

各種のアーカイブを横断的に検索可能な「デジタルアーカイブ横断検索」機能を提供している。各アーカイブを検索し、それぞれのヒット件数を表示させた後に詳細情報へとナビゲートされる。

この横断検索はZ39.50とSRWに対応した汎用的なシステムであり、検索対象は適宜追加可能である。現在は電子図書館の各アーカイブに加え図書館OPACを検索対象としている他、この機能を利用して「震災資料横断検索」を公開している。

